



子どもたちが目を輝かせて聞く偉人の話

平光雄

教師歴 32 年の著者が道徳指導の一環として行ってきた偉人伝の中でも、特に子どもたちの心に響き、成長の糧となると確信する 14 人の偉人の生き方を紹介したものとなっています。人間教育として役立てていくための深い知恵の溢れる一冊となっています。(あぶた読書の家所蔵)

読書の家から

あぶた読書の家 (☎ 76-2100)
[時間] 10 時～16 時 20 分 [休館日] 木曜日、祝日
みずうみ読書の家 (☎ 75-4702)
[時間] 10 時～15 時 [休館日] 木曜日、祝日
洞爺総合センター図書室 (☎ 82-5111)
[時間] 9 時～16 時 30 分 [休館日] なし

新刊案内

■あぶた読書の家

△一般▽▽心。(稲盛和夫)

▽私は真実が知りたい (赤木雅子著／相澤冬樹著) ▽医者

と病院をうまく使い倒す 34 の心得 (山本健人) ▽包み蒸し 8 分ほったらかしのやせごはん (川崎利栄) ▽首里の馬 (高山羽根子) ▽少年と犬 (馳星周) ▽洛中洛外をゆく (葉室麟)

△**児童書**▽▽サーカスが燃えた (佐々木譲) ▽キキに出会った人びと 魔女の宅急便 特別編 (角野栄子著／佐竹美保絵) ▽さくらの谷 (富安陽子著／松成真理子絵) ▽レツド あかくてあおいクレヨンのはなし (マイケル・ホール著／上田勢子訳)

■みずうみ読書の家

△一般▽▽オフマイク (今野敏) ▽希望の峰 マカルー西壁 (笹本稜平) ▽ヒポクラテスの試練 (中山七里) ▽図書館の子 (佐々木譲) ▽さよなら願いごと (大崎梢)

△**児童書**▽▽月でたんじょう

絵本の玉手箱 10 月のおはなし会
■日時 ① 11 月 13 日 (金) 14 時～15 時② 10 月 12 日 (月)、26 日 (月) 10 時～11 時 30 分、10 月 15 日 (木) 14 時～15 時 30 分
■場所 ①あぶた読書の家②あぶた母と子の館
■問合せ 佐藤 (☎ 76-2487)
※マスク着用の参加をお願いします。人数制限を行うこともありますのでご了承ください。

パーティーをひいたら (ジョイス・ラパン) ▽海のかくれんぼ (小宮輝之) ▽海べのかくれんぼ (小宮輝之)

■洞爺総合センター図書室

△一般▽▽くらげホテル (尾崎英子) ▽光の犬 (松家仁之) ▽つけびの村 噂が 5 人を殺したのか? (高橋ユキ)

▽九月の恋と出会うまで (松尾由美) ▽ラストレター (岩井俊二)

△**児童書**▽▽ねえさんといもうと (シャロット・ゾロトウ著／酒井駒子絵) ▽たぬきのひみつ (加藤休三)

地域おこし協力隊



通信

vol.31

今月の
リポーター
西山雄治さん



秋が近づくとつれ、寒さから室内で過ごす時間が増えてきたのではないのでしょうか? 私は寒さなど気にせず、現在も継続して洞爺湖クライミングクラブのメンバーと外岩を登る日々を送っています。

前回は「義経岩」を紹介しましたが、今回紹介するのは豊浦町の大岸の海岸にある岩。海岸にあるため義経岩とは異なり、木々に囲まれていないので常に日光にさらされます。そのため、夏は非常に暑いので対策が必要ですが、この時期はだいぶ快適になります。

この場所の特徴は、岩が 2 か所並んでいて、一方は垂直ではなく、やや角度が寝ているのでギンナー向けですが、高さはあるので覚悟が必要。岩の質はザラザ

ラしていて突起が多いので登り進みやすいルートになっています。もう一方は、もっと大きく高い岩。こちらは垂直で、ザラザラ感は無く突起も多いわけではないので、コースを見極め一挙手一投足の高い集中力が必要になります。

日々、反復的に岩を登ることによって、それまでできなかった岩の掴み方、股関節の使い方が自然とできるようになり、クリアできなかった箇所が攻略できるようになる。それは自分自身の成長を体で感じられる清々しい瞬間であり、何にも代えがたい喜びです。あと 1 か月もすれば雪が降り始めます。それまでの貴重な時間を可能な限り使い、鍛錬していきたいと思っています。